

本展では、NASA（アメリカ航空宇宙局）の惑星探査機や宇宙望遠鏡などがとらえた太陽系、星雲・星団、銀河の姿、また国立天文台の大型望遠鏡で観測された天体などを、高品位の銀塩写真プリントでご紹介します。宇宙の謎を紐解こうと、人類は英知を結集させ、技術を発展させてきました。今も見る人を魅了してやまない宇宙の観測画像約100点が、一堂に会します。あなたの目の前にひろがる宇宙の神秘をぜひご体感ください。



特別講演会『続々見つかる「第二の地球」候補 —宇宙生命発見への期待—』

講師 渡部潤一氏

（本展監修者、国立天文台 教授・副台長）



日時：7月21日（日）10時半～12時

場所：まなぼと幣舞2F 多目的ホール

参加無料、定員300名（先着順 / 整理券制）

*整理券は、まなぼと2F事務室にて

6月1日（土）9:00～より配布します。（1人につき3枚まで）

渡部 潤一 Junichi Watanabe

自然科学研究機構国立天文台天文情報センター教授・副台長、総合研究大学院大学物理科学研究科天文科学専攻教授。1960年、福島県生まれ。1983年、東京大学理学部天文学科卒業。1988年、東京大学にて学位取得（理学博士）。国立天文台広報普及室長、国立天文台天文情報センター長などを経て現職。専門は太陽系小天体（彗星、小惑星、流星など）の観測的研究。国際天文学連合では惑星定義委員として準惑星という新たなカテゴリーをつくり、冥王星をその座に据えた。2018年、国際天文学連合（IAU）副会長に就任。

○主催 / 釧路市民文化展実行委員会、釧路市立美術館、北海道新聞釧路支社 ○後援 / NHK 釧路放送局、FMくしろ、（一財）釧路市民文化振興財団 ○監修 / 渡部潤一（国立天文台 教授・副台長）○協賛 / アートギャラリー協会
○制作協力 / 富士フィルム株式会社 ○企画制作 / クレヴィス ○企画協力 / 岡本典明（サイエンスライター）

★道立釧路美術館の展覧会★

タグチ・アートコレクション 球体のパレット

6月28日（金）～8月29日（木）9:30～17:00

7/12-7/13-8/9-8/10-8/16-8/17-8/23-8/24は19:00まで

※7/15・7/29・8/12日を除く月曜日、7/16休館

お問い合わせ：道立釧路美術館 0154-23-2381

★次回展のご案内★

没後30周年 木下勘二展

9月7日（土）～10月14日（月・祝）10:00～17:00

会期中の毎週金・土曜日は19:00まで

※9/16・9/23・10/14日を除く月曜日休館

お問い合わせ：釧路市立美術館 0154-42-6116

交通案内

- 徒歩の場合
JR釧路駅から徒歩20分（1.6km）
- タクシーで利用の場合
JR釧路駅からタクシーで約5分
- バスで利用の場合
くしろバス停留所「釧路三慈会病院」下車徒歩1分
- 釧路空港からバスで利用の場合
空港前停留所からバスで約45分、MOO/バスターミナル下車徒歩5分

※地球環境保全のため、公共交通機関の利用にご協力ください。

釧路市生涯学習センター

まなぼと 幣舞
MANABOTTO NIJAMAI 幣舞
Kushiro City Museum of Art

〒085-0836 釧路市幣舞町4番28号
TEL 0154-41-8181・42-6116（直通）
FAX 0154-41-8182



前売券取扱所

MOOガイド（釧路）、
コーチャンフォー釧路店、
くしろ演劇みたい会、
コーチャンフォー釧路文化
ホール、釧路市生涯学習セ
ンター、釧路市民活動セン
ター（わっと）

図版上：網状星雲
NASA, ESA, and the Hubble Heritage Team (STScI/AURA)
図版下：噴き上がるプロミネンス
NASA's Goddard Space Flight Center/SDO